



第5回 遠野市進化まちづくり検証委員会

平成26年5月29日 岩手県遠野市

市民センター・地区センターの成り立ち

昭和40年代 高度経済成長による産業・交通の発達

就労人口流出

核家族化の
進行

農村社会の
変化

地域活力の低下の危機

昭和43年策定 遠野市総合計画基本構想

「トオノピアプラン」

～北上山地の大自然に息吹く永遠の田園都市づくり～

＜大地と光と水と緑がいっぱいの生産加工都市＞

＜明るく人間性豊かな健康文化都市＞

＜自然と歴史と民俗の博物公園都市＞

トオノピアプラン



市民センター構想

市民生活行政、社会教育行政の一体化

カントリーパーク構想

生活圏域における地域づくり、地域保健・医療、社会教育の一体的推進

市民センター構想

市民生活行政、社会教育行政の一体化

市民のやる気

市民の連帯感

市民の健康

一般行政・教育行政の一体的推進

市長部局

市民会館
中央公民館
市民体育館
市民プール
青少年ホーム
市民公園等

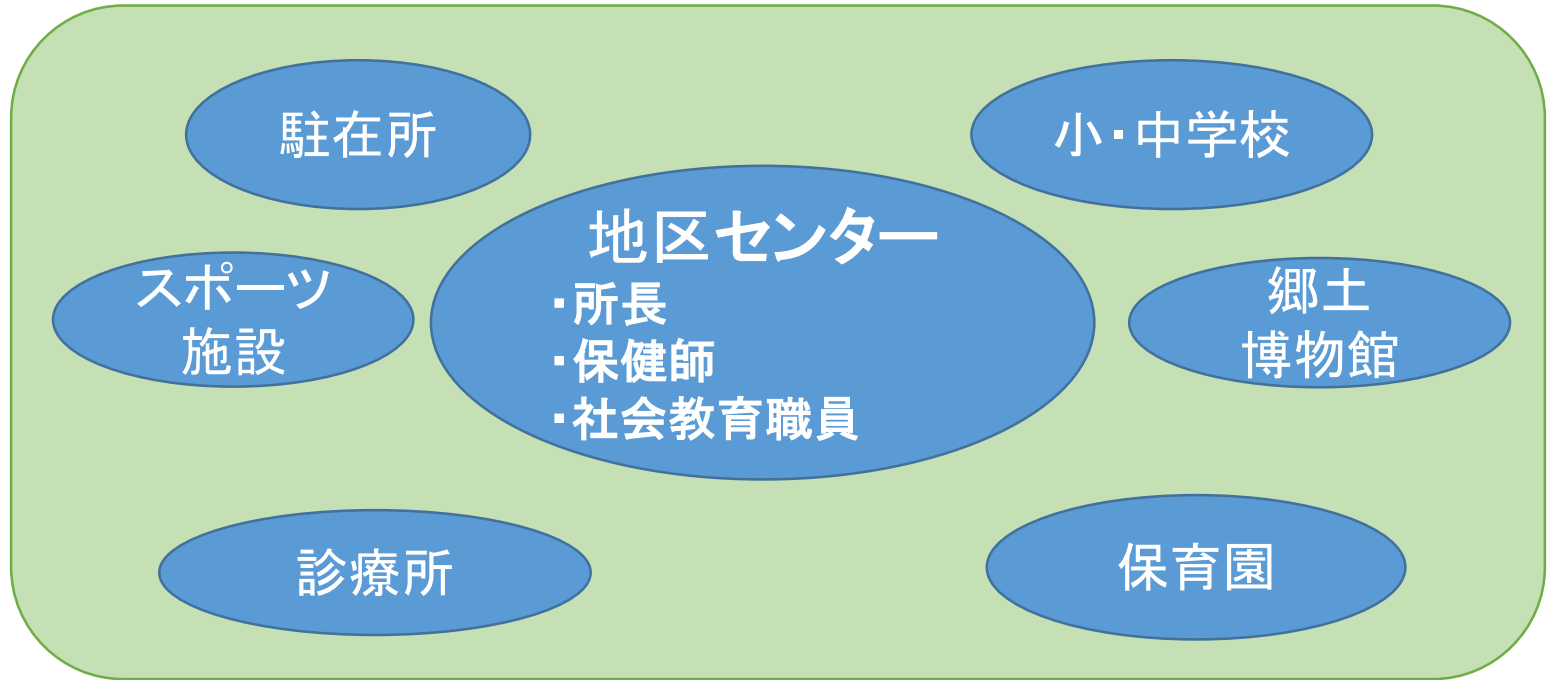
教育委員会
部局

地区センター
地区公民館



カントリーパーク構想

生活圏域における地域づくり、地域保健・医療、社会教育の一体的推進



綾織
農耕館
(農耕)

小友
山地館
(森林)

附馬牛
牛馬館
(畜産)

松崎
考古館
(太古)

土淵
伝承館
(民俗)

青笹
民芸館
(民芸)

上郷
芸能館
(郷土)



組織の変遷

市民センター構想当初(昭和46年)の組織

市民生活部門

交通安全対策協議会
交通指導隊
防犯協会連合会
防犯隊
公共交通、消費生活

社会教育部門

体育協会
芸術文化協会
婦人団体
老人クラブ
青少年団体

8地区の地区センター

文化部門

図書館
博物館
昔ばなし村

現時点

市民協働課

生涯学習スポーツ課

9地区の地区センター

文化研究センター
(別組織)

+
宮守地区センター

市民協働に係る団体の変遷

年月日	出来事	備考
昭和43年度	遠野市総合計画「トオノピアプラン」が策定される。	
昭和46年 12月1日	市民センター構想に基づき、市民会館、中央公民館が開館	以降、勤労青少年ホーム、市民体育館棟を建設
同年月日	遠野市の花鳥木、遠野市民憲章が制定される	市民憲章推進協議会も同時期に設立
昭和50～ 56年度	青笹町(51年3月2日)を皮切りに、各町に地域づくり連絡協議会が設立	平成17年に宮守の3協議会が加わり現在に至る
平成18～ 19年度	総合計画に「市民と行政の協働」が重点施策として掲げられ、「みんなで築くふるさと遠野指針」を策定	新憲章制定により、憲章協から「遠野市ふるさとづくり市民会議」へ移行
平成18年 度～現在	みんなで築くふるさと遠野推進事業で市民協働の事業を展開 7年間で1億200万円が補助された。	旧市の地域づくり推進事業(平成3年から)を再編 年額1800万円の補助金

組織の変遷

《《遠野市教育文化振興財団について》》

平成24年度

第1次検証委員会提言を受け、遠野市教育文化振興財団と遠野市国際交流協会が組織統合

平成25年度

一般財団法人に認可。事務局職員体制6名。
(プロパー4名＋派遣2名)

社会教育部門の事業(学級・講座)を受託

- ①自然に親しむ講座 ②マナビィクラブ(美術教室)
- ③パソコン教室 ④手作りを楽しもう(料理・ハンドメイド)ほか

国際交流事業

- ①中学生海外派遣事業 ②姉妹都市サレルノ交流事業

平成26年度

職員体制8名(プロパー1名、派遣1名が加わる)
新たな事業として芸術振興分野を受託

- ①市民センターバレースタジオの運営 ②少年少女合唱隊
- ③市民芸術祭 ④市民の舞台 遠野物語ファンタジー
- ⑤自主事業(舞台公演の開催) ⑥青少年劇場の開催



《《地区センターの職員体制の変化》》

カントリーパーク構想当初(昭和46年)の組織



+



+



所長(課長補佐級)

公民館主事(主事、主任)

保健師

健康福祉の里

現時点

地区センター所長9名(うち2名非常勤)

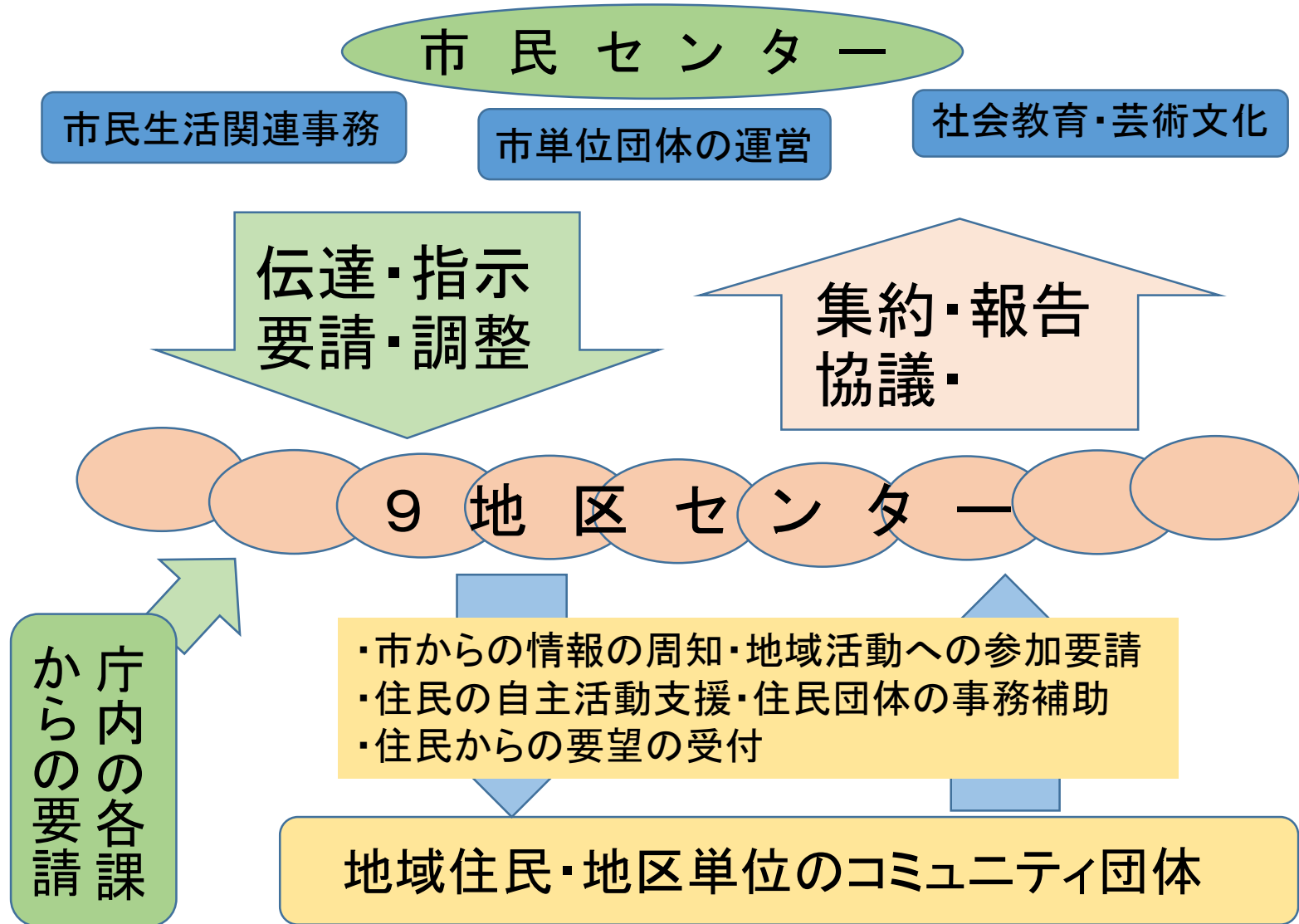
+

公民館主事・主任9名

+

地域活動専門員5名を地区センターに配置

市民センター・地区センターの関わり



市民生活分野

地区行政：区長との連絡調整、市への要望への対応

市民協働：ふるさと遠野推進事業（補助事業）、地域活動専門員の設置

交通安全：交通安全啓発、施設点検、関係団体への助成、交通指導隊

地域安全：防犯意識啓発、関係団体への助成、暴力団追放、防犯隊

施設管理：市の施設の安全確保と利便性の向上

社会教育分野 （教育文化振興財団への委託を含む）

生涯学習：広報、学習機会の提供、社会教育団体支援、家庭教育の充実

青少年健全育成：少年センター（少年委員活動）、放課後子ども教室

国際交流：中学生海外派遣、サレルノ姉妹都市交流

高齢者教育：老人クラブ育成、各種事業の支援

芸術文化：芸術文化振興（補助事業）、自主公演事業

社会体育分野

健康づくり：健康づくり総合大学とすぽ、子どもの体力づくりプログラム

スポーツ振興：各種大会・競技団体への支援、国体開催推進



市長部局

教育委員会部局

併任発令

市民センター

市民協働課

生涯学習スポーツ課

国体開催推進室

市民協働課

地域生活

- ・市民センター全体の事務事業の総合調整
- ・消費者の保護・消費生活相談窓口
- ・防犯灯関連
- ・区長関連
- ・市民憲章運動
- ・市民センター運営協議会関連
- ・市民協働の啓発及び普及
- ・地域活動専門員関連
- ・各地区センター施設関連
- ・都市公園等の管理・利用の許可関連

地域安全

- ・交通対策、交通安全対策の企画調整
- ・公共交通会議関連
- ・交通安全運動の推進
- ・交通事故相談関連
- ・交通安全推進団体の育成
- ・交通指導員関連
- ・犯罪防止関連
- ・防犯隊関連
- ・市民センター施設の管理、利用許可関連
- ・ふれあい交流センターの利用促進



市民協働課



行政区長
区長連絡協議会

公共交通会議

交通指導員

交通安全対策協議会

防犯隊

防犯協会連合会

地域づくり連絡協議会

市民センターの概要

生涯学習スポーツ課 (市長部局事務)

学び支援

- ・生涯学習の推進
- ・男女共同参画社会の推進
- ・高齢者団体育成、教養、健康づくり
- ・社会を明るくする運動
- ・青少年の育成、指導
- ・国際交流関連
- ・勤労青少年ホームの管理運営
- ・少年センター関連
- ・都市公園等の管理・利用の許可

スポーツ

- ・スポーツを通じた健康意識の普及
- ・健康づくりに係る事業の総合調整
- ・運動、スポーツ習慣の定着
- ・市民の健康づくり総合プログラムの推進
- ・生涯学習スポーツ施設関連

生涯学習スポーツ課 (教育委員会部局事務)

学び支援

- ・生涯学習の推進
- ・社会教育活動の推進
- ・家庭教育関連
- ・各種学級講座の開設
- ・社会教育団体の支援
- ・社会教育指導員関連
- ・ユネスコ活動の奨励
- ・青少年の指導及び育成
- ・児童及び生徒の校外活動の指導

スポーツ

- ・生涯スポーツの推進
- ・子どもスポーツの充実
- ・競技スポーツの向上
- ・健康スポーツの推進
- ・スポーツ文化の創造



生涯学習スポーツ課



少年委員

老人クラブ

青年団体協議会



婦人会

体育協会



スポーツ少年団

体育指導委員

◎市内一斉河川清掃(8月第1日曜日)

◎市内一斉町民運動会(6月第1日曜日)

◎市民の舞台「遠野物語ファンタジー」(2月上演)

- ・みんなで築くふるさと遠野推進事業
- ・春、秋、年末年始の交通安全運動、地域安全運動
- ・区長と市長との懇談会
- ・わらすっこまつり(各種団体による子ども対象の屋外イベント)
- ・成人式「はたちのつどい」
- ・老人スポーツ大会、シルバー室内競技大会、シルバー文化祭
- ・市民芸術祭
- ・じんぎすかんマラソン大会、市内一周継走大会、市民野球大会

成果

- 市民参画による地域づくり活動への財政的支援
(環境整備、地区祭りなどに「みんなで築くふるさと遠野推進事業」を活用)
- 市民参画による芸術文化の振興
(39年継続している市民の舞台「遠野物語ファンタジー」等)
- スポーツを通じた健康づくりの推進
(一斉町民運動会、運動教室、ジギスカンマラソンの開催)

課題

- 行政区人口・世帯数の偏在
(1,697人から68人・694世帯から34世帯)
- 自治会組織への支援の必要性(財政面、研修事業)
- 各種団体の会員確保とリーダーの育成
(自治会・婦人会・老人クラブ等)
- 学校統合による地域環境の変化
(中学校区と地区センター対象区域との相違)
- アウトソーシング後の市民センター機能のあり方
(遠野施設管理サービス・遠野市文化振興財団)

市長部局

教育委員会部局

併任発令

地区センター

(地域づくり・地域安全)

地区公民館

(生涯学習・地域教育)

社会教育の充実

・高齢者学級 ・各種教室や講座

健康づくりの推進

・総合型地域スポーツクラブ ・ICT健康塾 ・健康教室

文化活動の推進

・郷土芸能団体の育成 ・伝承保存活動 ・遠野遺産認定

コミュニティ活動の推進

・高齢者等の見守り ・交通安全、地域安全 ・広報紙発行
・景観形成と環境美化 ・世代間交流事業

推進基盤の整備

・地域づくり連絡協議会 ・地域教育協議会 ・研修事業
・地域自治会 ・自主防災組織

支援育成事業

・みんなで築くふるさと遠野推進事業の活用支援
・活動組織の再構築 ・若年層の人材育成

地区名	地域の行事やお祭りの主なもの
遠野	南部氏遠野入部行列(地連協を主催として住民が出演。市外からの参加団体もあり、春の観光イベントとして定着)
綾織	綾織まつり(地区センターを会場に、郷土芸能や泣き相撲)
小友	巖龍神社裸参り(厳冬期の伝統の祭り)
附馬牛	附馬牛町民夏まつり(プロの演芸ショーやカラオケ、船っこ流し)
松崎	松崎観音宵宮祭(地元住民手づくりの屋台や、郷土芸能の上演)
土淵	佐々木喜善祭(佐々木喜善の命日に、郷土の偉人を顕彰し、次世代に語り継ぐ行事)
青笹	青笹しし踊り伝承活動(文化庁により記録保存を講ずべき無形文化財に選択された郷土芸能の町全体による伝承活動)
上郷	町民ふれあいイベント(午前に町民運動会、午後に郷土芸能発表会を開催し、町民1000人が集うイベント)
宮守	めがね橋夜まつり(郷土芸能競演会) 稲荷穴まつり(名水稲荷穴の水を活かした夏のイベント) 柏木平リバーサイドまつり(猿ヶ石川に沿った公園で、わらすっこまつりなどと併催)

成果

○地連協との共催による事業の推進

(地区まつり、敬老会、交通安全街頭指導、運動会等)

○社会教育、社会福祉、スポーツ団体への活動支援

(生涯学習講座、高齢者教室、町民野球大会の開催等)

○自治会組織活動への活動支援

(郷土芸能保存活動・遠野遺産整備活動支援)

課題

○コミュニティ団体の自立への育成強化

(地区センター職員が担う団体事務処理)

○人口の減少、高齢化による各行事の参加者の減少

(河川清掃、町民運動会等)

○事務の多様化、複雑化

○地区センター職員体制のあり方

(定員管理計画をふまえて)

- 1 市民センターの役割と機能
- 2 地区センターの役割と機能
- 3 地域コミュニティと市民センター・地区センターとの関係と役割

終わり

参考文献：

トオノピアプラン 自立する都市・遠野からの報告

遠野スタイル 自然と共に循環・再生し続ける永遠のふるさと